

## 証券市場新聞

1 第127号

日経平均株価

2万2467円87銭

▲148円26銭(前日比)

TOPIX

1777.23

▲5.10(前日比)

2018  
4/30  
月曜日

発行元 ココ・パートナーズ株式会社

〒542-0081 大阪市中央区南船場3-7-27 NLC心斎橋ビル6F

TEL 06-6105-1904 FAX 06-7635-7861

marketpress.jp



5Gで通信インフラが劇的に進化する

目先的に注目されるのが5G(第5世代通信システム)の商用化へ向けた動きだ。5Gは現在の4Gと比べて最大100倍の超高速スピードを実現、モバイル通信はもとより、IoTや自動運転分野などに必要不可欠な基盤技術となるもので、日本国内では2020年後半に、数年先には主流になる

## 107円後半まで円安進行

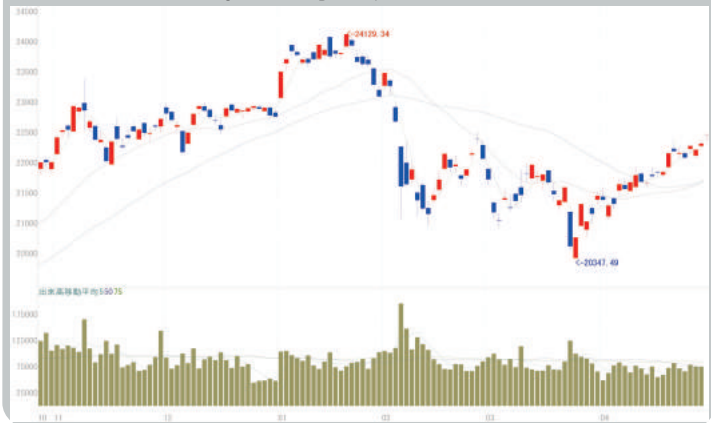
日経平均が2万2000円台に戻す過程では内需セクターの上昇が貢献したが、その一方で上値の重さが印象的なのが電子部品を筆頭とするハイテク系だ。19年3月期の業績見通しについては個々でその内容を吟味する必要はあるが、為替が1ドル104円55銭を底に直近では107円後半まで円安が進んでいることや次世代の通信インフラの整備などを考慮すれば明るい材料は多い。今後の注目テーマを再点検したうえで、関連銘柄をピックアップしてみた。

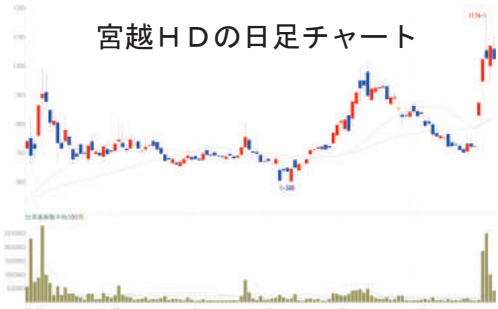
## ハイテク系復活なるか？

## 5Gやフォルダブルスマホなど

と見られているのが折りたたみ可能なフォルダブル・スマートフォン。折りたたくことで画面が既存のスマホの2倍の画面になることから、タブレット端末の機能も兼ね備えることが可能になる。折りたたみ端末を実現可能な見開き型の液晶ディスプレイを開発しているのは、パナソニック(6754)、スマートフォンではスマートフォンの後変革期を迎えることになりそうだ。数年前には主流になる

日経平均日足チャート





宮越HDの日足チャート

たと発表されたことが  
材料視された。同社  
グループは2014  
年の資産譲渡の際と  
同じ資産評価会社を

## 宮越HDストップ高

### 中国土地譲渡価格査定開始

23日、週明け  
越ホール  
デイング  
ス(66  
20)が  
ストップ  
高。中国  
深センの  
再開発地  
で道路用  
地などの  
譲渡価格  
査定作業  
が開始ま

選定し、資産査定  
作業に入っており、  
この評価会社は道路  
用地のほか道路建設  
で取り壊しが避けら  
れない工場や建物な  
どの資産価値を査定  
するという。

### 福井コン増額も下放れ

23日、福井コンピ  
ュータホールディン  
グス(9790)が  
続落、年初来安値を  
更新した。18年3月  
期の連結業績予想を  
修正表、売上高を1  
01億円から109

億200万円(前期  
比9.3%増)、営業  
利益を31億500  
0万円から36億8  
00万円(同18.4  
%増)へ増額、期末  
一括配当を28円から  
32円へ引き上げたが  
材料視されずこの数  
週間の揉み合いを下  
放れる動きとなった。  
経産省のIT導入補  
助金制度による販売  
効果が表面化する。

### セレスは上方修正

23日、セレス(3  
696)が続騰。18  
年12月期の単体業績  
予想の修正を発表、  
売上高を71億円から  
76億円(前期比40  
7%増)へ、営業利  
益を4億8000万  
円から10億円(同4  
7%増)へ、純利益  
を3億円から6億4  
500万円(同0  
8%減)へ上方修正  
した。イントメディア  
ア事業、コンテナツ  
メディア事業の業績  
が堅調に推移するこ  
とに加えて、コイン  
チェック株売却益が  
寄与する。

## エンプラス25%営業減益

23日、エンプラス  
(6961)が急落、  
年初来安値を更新し  
た。19年3月期の連  
結業績は売上高34  
0億円(前期比2  
1%増)、営業利益  
33億円(同24.5  
%減)と増収ながら大  
幅な営業減益を予想  
したことを嫌気した

売りがかさんだ。自  
動化設備導入による  
生産体制の高度化や  
最先端評価技術によ  
る提案力を強化、新  
技術、新製品の早期  
事業化を進めるが、  
オプト事業が苦戦し  
ていることや人件費  
高騰などを考慮して  
慎重に見積もった。

## 非鉄金属は市況軟化

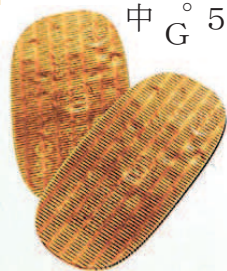
24日、住友  
金属鉱山(5  
713)、大  
平洋金属(5  
541)が急  
反落するなど  
非鉄・金属株  
が軒並み安。  
米財務省がロ  
シアのアルミ  
大手ルサル  
への経済制裁  
を緩和すると  
発表したこと

## 正直いいさんの株で大判小判

27日の東京市場は続伸。NY株が大  
幅高になったことに加えて、日銀金融  
政策決定会合で現状維持が確認された  
ことも安心感に繋がっています。大幅  
減益予想のフアナック(6954)が  
大幅安に売  
たことを考  
調な地合い  
じ半導体関  
(6857)  
方、デイス  
3月期1Q  
大幅安に売  
は立ち合いが2  
な動きはないと  
発表したソニ  
企業の値動きを  
ピックアップ  
たソウルドアウト(655  
3)の週明け動きに注目。G  
W明け後の決算は内需や中  
小型株に主体が移ってい  
くことも踏まえ銘柄選別  
する考えです。花咲翁

## 決算受けての個別物色

注視する局面でしょう。  
銘柄では決算を発表し  
コ(6146)は19年  
見通しを下方修正し、  
られています。週明け  
日しかく指数には大き  
思います。27日に決算  
(6758)など主要  
連でもアドバンテスト  
は好業績を予想する一  
コ(6146)は19年  
見通しを下方修正し、  
られています。週明け  
日しかく指数には大き  
思います。27日に決算  
(6758)など主要



### 海運大手が高い

24日、海運大  
手が高い。日本  
郵船(9101)  
の今期連結経常  
利益は約5割増  
える見通し、川  
崎汽船(910  
7)、商船三井(91  
04)、も大幅増益を  
見込むと伝わったこ  
とが刺激になった。



# 新通販ショップに意欲

## キリン堂HD

### 協栄会第30回総会盛大に開催



寺西豊彦社長

協栄会は、注目の戦略が注目を浴びる。キリン堂協栄会は

平成元年に発足し今年で30年目に到来、昨年までは秋に開催していたが、今年からは新年度の幕開けとなる4月に開催されることになり、今回の総会でも多くの取引先・関係者などが来場した。寺西豊彦社長は連結営業利益で前の期比49・2%増の19億3700万円と大幅な増益を達成した18年2月期決算を報告、19年2月期も33・2%増の25億8000万円と大幅増益を目指すうえで、「既存店の活性化とリニューアルオープンするPCとスマホ向けの通販ショップを通じて顧客の利便性を追求していく」と意欲を見せた。

## 企業レター

キリン堂ホールディングス(3194)は

24日、CEホールディングス(4320)が急動意、一時ストップ高まで買われた。18年9月期の第2四半期累計の連結業績予想を修正、売上高を42億4000万円から45億3400万円(前年同期比38・5%増)、営業損益を7000万円の黒字から3億3000万円の黒字



# CEHDは一時S高

電子カルテ前倒しで2Q増額

20日に東証マザーズ市場に新規上場したHEROZ(4382)は24日、公開価格4500円の10・9倍となる4万9000円で初値を

## 公開価格の10・9倍

HEROZの初値

25日、東光高岳(6617)が急反発。19年3月期の連結業績予想を発表、売上高は910億円(前期比4・5%減)、営業利益は34億円

## 東光高岳15%営業増益

24日、NSW(9739)が急反落。18

NSW期待値に届かず

25日、日本電産(6594)が小幅反落。19年3月期の連結営業利益は1ドル100円、1ユーロ120円を前提に1900億円(前期比13・3%増)と2ケタ超の増益を予想したが、市場コンセンサスを下回ったとして売り

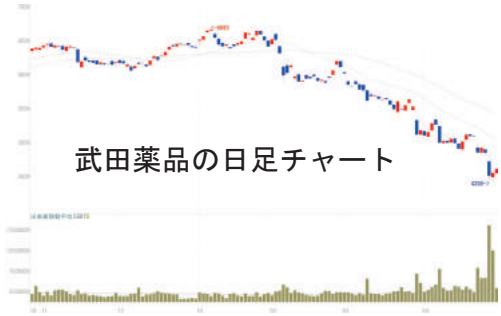
## 日電産は小幅反落

25日、日立ハイテク(8036)が続急伸。19年3月期の連結業績予想を発表、売上収益7800億円(前期比13・4%増)、営業利益630億円(同13・5%増)と

## 日立ハイテク続急伸

2ケタ増収増益を見込んだ。科学システムにおいて電子デバイス関連や環境・新エネルギー分野向けの需要の増加が期待され、半導体製造装置市場では、メモリ向け投資を中心に好調に推移する。

市場の期待値に届かなかったよう失望を浴びた。デバイス開発をはじめとするプロダクトソリューションの需要増大に伴い、受注が堅調に推移している。



武田薬品の日足チャート

# 武田薬急落し安値

## シャイアー買収暫定合意と伝わる

きょうにも武田薬による買収に暫定合意することを発表したこと見通しと報じたこと、約6兆6000億円で、約6兆6000億円におよぶ巨額の資金負担と新株発行による希薄化や需給圧迫による株価下押

26日、東京エレクトロン(8035)が急伸。19年3月期の連結業績予想を発表、売上高1兆4000億円(前期比23・8%増)、営業利益3660億円(同30・2%増)と市場コンセンサスを上回る大幅な増収増益を見込み、配当も前期の347円から433円と増配を打ち出したことが好感された。主力の半導体製造装置への需要が引き続き旺盛で、FPD製造装置も好調。製造子会社の2工場に新生産棟を建設する

# 東京エレクは急伸

## 今3月期30%営業増益見込む

26日、東京エレクトロン(8035)が急伸。19年3月期の連結業績予想を発表、売上高1兆4000億円(前期比23・8%増)、営業利益3660億円(同30・2%増)と市場コンセンサスを上回る大幅な増収増益を見込み、配当も前期の347円から433円と増配を打ち出したことが好感された。主力の半導体製造装置への需要が引き続き旺盛で、FPD製造装置も好調。製造子会社の2工場に新生産棟を建設する

25日、武田薬品工業(4502)が年初来安値を更新した。ロイヤル製薬大手シャイアーが買収に暫定合意したことが、年初来安値を更新した。ロイヤル製薬大手シャイアーが買収に暫定合意したことが、年初来安値を更新した。

公開価格58%上回る

し懸念が再燃。この日、買収提案の意思表明期限をロンドン時間5月8日まで延長すると発表した。損害保険(7323)が東証マザーズ市場に新規上場した。公開価格2850円を57・9%上回る4500円で初値が生まれた。同社はペット保険事業を展開している。

26日、マネックスグループ(8698)がストップ高。18年3月期の連結決算で税引前利益86億3100万円(前の期比8・1倍)と利益が急増した。未定としていた期末配当を6円30銭とし、年間配当を10円に増配する。

マネックスはS高

# 五陽連

4月相場が終わりました。1～3月は月足陰線でしたが、4月は文句なしの陽線形成となりました。4月は毎年海外投資家が買い越す傾向にあり、期待できる月としてきた通りの展開となりました。4月の上昇で13週や26週線を回復し、1～3月の下落幅の半値戻し水準を突破。週足は5週連続上昇の五陽連という強気シグナルが出現しました。ドル円も同様に週足五陽連です。

今週は13週線が上向きに転じました。109円70銭に26週線、110円50銭に52週線が走っておりレジスタンスとして意識されるでしょうが、五陽連が出たことで早晚ブレイクするものと思われれます。形が悪いのがNYダウで今週は13週と26週線がデッドクロスしました。突然の急落に見舞われた場合は東京市場にも影響が出るでしょうが、そうした押し目は買い向うところでしょう。

日々勇太郎



# JSR市場予想下回る

26日、JSR(4185)が急落、約3カ月半ぶりに年初来安値を更新した。19年3月期の連結営業利益は480億円(前期比10・2%増)と2ケタ増益を予想したが、市場予想を下回ったとして失望売りを浴びた。タイヤ向けが引き続き堅調で、合成樹脂は差別化製品、半導体材料を拡

26日、バリューコマース(2491)がストップ高。18年12月期の第1四半期連結決算を発表、売上高は46億7700万円(前年同期比16・2%増)、営業利益は8億2700万円(同71・0%増)、純利益は5億5100万円(同67・0%増)と大幅な増収増益となったことが好感された。Yahoo!ショッピングの

Vコマース71%増益

公開価格の3・4倍

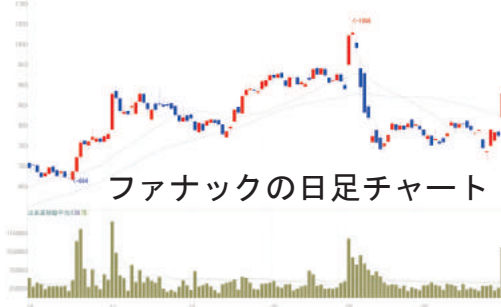
26日、前日に東証マザーズ市場に新規上場したベストワンドットコム(6577)が公開価格430円の3・4倍になる1万4830円で初値を付けた。クルーズ旅行に特化したオンライン旅行予約サイト「ベストワンクルーズ」を運営

転ばぬ先のテクニカル

# ファナック急落し安値

## 19年3月期は34%営業減益

週末27日、ファナック(6954)が急落、年初来安値を更新した。19年3月期の連結業績予想を発表、売上高は6342億円(前期比12・7%減)、営業利益は1517億円(同33・9%減)と減収減益を見込んだことが嫌気された。IT関係の一時的な需要が鈍化を予想しており、貿易摩擦問題の影響や為替など様々な不透明な要因も考慮、為替は1ドル100円を想定している。同時に自己株式の消却を発表、消却する株式数は1万8246株で消却予定日は5月31日。



27日、双信電機(6938)が急伸。19年3月期の連結業績予想を発表、売上高は112億円(前期比7・9%増)、営業利益は7億円(同37・8%増)と大幅な増益を見込んだことが材料視された。新製品の上市や既存製品の市場シェア拡大、生産効率化や調達間接コストなどの費用削減に取り組み。

## 双信電38%増益

27日、双信電機(6938)が急伸。19年3月期の連結業績予想を発表、売上高は112億円(前期比7・9%増)、営業利益は7億円(同37・8%増)と大幅な増益を見込んだことが材料視された。新製品の上市や既存製品の市場シェア拡大、生産効率化や調達間接コストなどの費用削減に取り組み。

## ディスコ1Q大幅減額

27日、ディスコ(6146)が急落した。19年3月期第1四半期の業績予想について、売上高を471億円から379億円(前年同期比14・7%減)、営業利益を158億円から98億円(同35・1%減)へ大幅に減額。半導体関連で好業績が予想されていただけに、ネガティブサプライズになった。

## 公開価格の2.1倍

エヌリンクスの初値578円(6月10日)が市場に新規上場公開価格180円の2.1倍となった。NHKの契約・収納代行、チャットによる不動産仲介などを行う。

## 今週の動意銘柄

### ◎6ヵ月50%高前後目標の(門外不出)大伸流底値先回り買成功法試見

◎暴落底値買に暴落の心配なし・日経平均に関係なしなり(4月23日)

(6740) J D I を斬る 〇〇〇円より断固買

◎御存知の如く2016年12月21日の高値398円より暴落しつづけて60%安の定石通りの2番底水準にある。目先200~230円、当面260~280円目標、押し目買OKなり

大日本住友薬 →1400~1500円買→当面2000円目標予言は4月19日2034円に上昇す

大平洋金属 →3000円以下買→4000~4200円目標予告は4月20日3860円に上昇中

◎株は損が少なく利益の大きい底値買に勝る投資法なし(下値は有限、迷える投資家発想の転換を)

論より証拠・上記の如く底値大幅高予想のお試し銘柄をお知らせします。(自信あり)(返信切手1000円要)

田舎の名医が目標なり(会員のみ知る) (実績40年)金融商品取引業者 登録番号 東海財務局長(金商)第45号(一般社団法人)日本投資顧問業協会会員

## 大伸経済研究社

会費1ヶ年50万円、2ヶ年80万円(継続同額)(税込)  
 (会費は高いが的中率に自信あり)(広告参照)  
 将来の運用成果を約束するものではありませんが  
 (銘柄相談自由)(入会勧誘いたしません)

公表銘柄は一例であり全てではありません  
目標値は当社独自の分析による予想値です

有価証券の運用には、価格変動リスク、株式発行者の信用リスク、流動性リスクがあります。運用の結果、元本を割り込み、損失を被ることがあります。リスクに関して詳しくは契約締結前の書面をご覧ください。

電話058-243-5690(午前8:30~11:00)

〒501-3144 岐阜市芥見大般若2-25-2

インターネットでの資料請求は[ここをクリック!](#)



## ～決算情報～

### 東京エレクトロン

## 30.2%営業増益見込む

### 旺盛な需要に対応して設備投資も

東京エレクトロン(8035)の19年3月期の連結業績は、売上高1兆4000億円(前期比23.8%増)、営業利益3660億円(同30.2%増)、純利益2700億円(同32.1%増)と市場コンセンサスを上回る大幅な増収増益を見込み、配当も前期の347円から433円への増配を見込んでいる。

主力の半導体製造装置に関して、引き続き旺盛なメモリ需要や、半導体用途の広がりや背景に、設備投資は好調に推移する見込み。また、FPD製造装置についても、大型パネル向けの投資拡大により、好調な需要が見込まれる。製造子会社の東京エレクトロンテクノロジーソリューションズの山梨(藤井)と東北事業所内には新棟(生産棟)を建設することも発表しており、旺盛な需要に対応すべく設備投資も行う。

### 日本電産

## 1ドル100円で2ケタ増益

### 自社成長とM&A基軸に業績拡大

日本電産(6954)の19年3月期の連結業績は、売上高1兆5750億円(前期比5.8%増)、営業利益1900億円(同13.3%増)、最終利益1450億円(同10.3%増)と、1ドル=100円、1ユーロ=125円と為替レートを厳しく見積もったうえで増収2ケタ超の増益を見込んだ。収益拡大に伴い、前期に続いて年間配当を100円(前期95円)への増配を予定。

HDD用モータや電動パワーステアリング用モータなど車載・産業製品に加え、プレス機器、減速機、液晶ガラス基板搬送用ロボットが好調を持続、決算と併せてコンプレッサと半導体ウエハー搬送ロボットメーカーの2社の買収を発表するなど、自社成長とM&Aに基軸を置いたグループ一体経営を進めることで、さらに業績を拡大する。

### ファナック

## 今3月期は34%営業減益

### IT需要鈍化も1ドル100円前提

ファナック(6954)の19年3月期の連結業績は、売上高で6342億円(前期比12.7%減)、営業利益で1517億円(同33.9%減)、純利益は1377億円(同24.3%減)と減収減益を見込んでいる。

FA部門は国内はもとより、中国や欧州、インドなどで好調に推移し、ロボット部門も米州や欧州、中国向けが引き続き伸びており、なかでも中国向けの需要が活発していたが、IT関係の一時的な需要が鈍化することを予想している。これに加えて、国家間の貿易摩擦問題の動向とその影響、為替の動向をはじめとする様々な不透明な要因も考慮。為替は1ドル100円想定であることから慎重な予想とも判断できる。

同時に自己株式消却を発表、消却株式数は1万8246株で消却予定日は5月31日。

### マネックスグループ

## 前期税引前利益は8.1倍

### 単年度の総還元性向を100%に

マネックスグループ(8698)の18年3月期の連結決算は、営業収益536億3500万円(前の期比17.0%増)、税引前利益86億3100万円(同8.1倍)、最終利益65億7900万円(前の期1億6100万円)と大幅増収で利益が急拡大した。日米で株式取引が活発化したことで委託手数料が増え、有価証券売却益や受取利息の拡大、証券機関システムのライセンス供与などにより大幅増収を達成。システム関連費用減少と米法人減税効果も大きく利益が急増した。なお、19年3月期業績予想は公表していない。

併せて、21年3月期までの単年度の総還元性向を100%にすることを表明しており、18年3月期は第2四半期末3円70銭、期末6円30銭として、年間配当を10円(5円20銭)に引き上げた。

## 潮流

## リフレ・レジームの再構築

## さらなる量的緩和継続の宣言必要

marKet/bAnk

「異次元緩和の効果の起点は予想実質金利の引き下げだった。2%の物価上昇を日銀が約束することで予想インフレ率を引き上げ、国債買い入れにより名目金利を下げる。これが株高・円安を促し、企業は生産や設備投資を拡大する、雇用も増やすという効果につながる。ところが消費増税と石油価格の暴落後、予想インフレ率が上がらなくなり、実際の物価も上がりにくくなった。設備投資や輸出が順調に伸びたのに対し、個人消費の伸びは鈍いままだった。消費増税を前提とせずに2年で2%を達成するためには、どの程度の金融緩和が必要かと計算していた。消費増税には経済状況を踏まえて増税の可否を見極める景気条項が付いており、まさか、デフレ脱却に踏み出してわずか1年で増税はしないだろうと考えていた。消費の下押し圧力が非常に強かった」と言う。

日銀は14年10月に追加緩和に踏み切った。さらに、16年1月にはマイナス金利を導入。同年9月には「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策を始めた。19年の消費増税に対して岩田氏は「政治的に消費増税は避けられな

今年3月に退任した岩田規久男前日銀副総裁が5年間の金融政策を振り返り感想を述べた。

いなら、せめて増税分を財政赤字の削減にあてるのではなく、需要喚起のため全額使い切るべきだ。財政が経済を下押ししないようにしないと、外的・内的ショックで需給ギャップさえ縮まらない事態

に陥りかねない。財政緊縮を急いではだめだ」と述べている。

さらに「財政再建を遅らせろとは言わない。デフレ脱却前に増税しない方が、政府債務の比率は下がる。今は財政緊縮のスピードを落とさなければ、リフレ・レジームを再構築できない状況だ。政府は財政赤字の縮小幅を縮めると宣言し、日銀と政策協定を結び直すべきだ」と言う。

若田部昌澄副総裁はインフレ率2%の達成には「アベノミクスの再起動と改善である。その要点はリフレ・レジームの再確認と進化だ」と言っている。政府と日銀は完全にデフレから脱却するまでは消費増税は行わない。さらなる量的緩和金融政策を継続すると宣言すべきだ。政府と日銀のゆるぎない取り組みができれば、日本の株式市場は激変するだろう。

潮流銘柄はトレンドーズ(6069)、イノテック(9880)、綜研化学(4972)。

にて約1万人の参加者の中から優勝。直近では2017年1月に始まった夕刊フジ主催の「株・1グランプリ」において優勝。1カ月間における3銘柄の合計パフォーマンスでは155%と断トツの結果。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行う。<http://marketbank.jp>



岡山 憲史氏(株式会社マーケットバンク代表取締役)のプロフィール  
1999年2月日本初の資産運用コンテスト「第一回S1グランプリ」

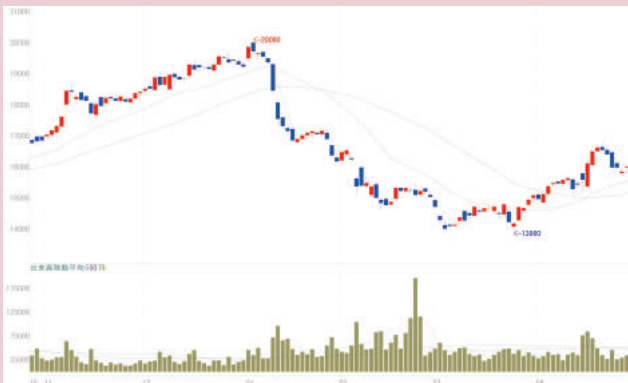
財政緊縮急いではならない

トレンドーズの日足チャート



# チャート から読む 騰落銘柄

## 松竹 (9601)



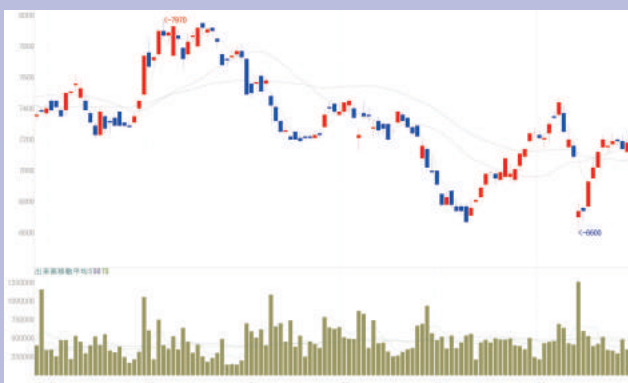
4月19日に1万6780円まで買われたあとに下落基調ながら25日線へ接近したことで下げ止まりに期待。今19年2月期は連結営業利益で12.4%減と前期に続いて減益の予想ながら保守的との見方も。

## 浜松ホトニクス (6965)



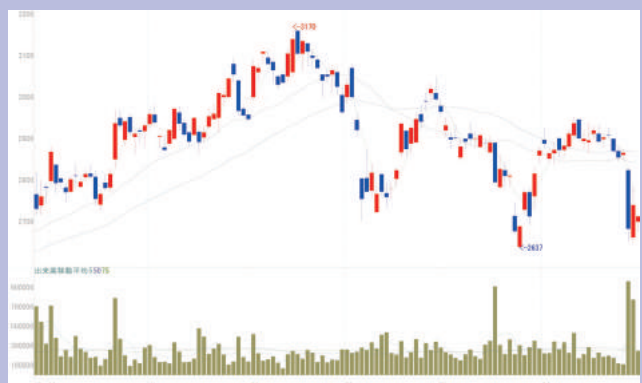
23日の急伸で日足が再び陽転し、大勢上昇基調を確認。急上昇する5日移動平均を下値支持ラインに3月に付けた年初来高値4360円奪回から、株式分割を顧慮した最高値4650円を目指す。

## ローソン (2651)



4月12日の年初来安値6600円を底に戻したものの、25日線や50日線を抜けきれず頭打ち。4月6日の高値7460円を抜けなければ再度調整か。IT関連の経費大幅増も利益圧迫懸念。

## アマノ (6436)



1月17日に最高値3170円を付けてから2度にわたり戻りを試すが、13週線に跳ね返されるかたちで調整が続く。週足が陰転し、25日の急落で日足も再び陰転。12カ月移動平均を割り込み一段安も。

※チャートは日足



# 今週の

# 活躍期待銘柄



## 日立化成 (4217)

### 19年3月期28%営業増益

日立化成(4217)は決算発表後に軟調な展開となっているが、売り一巡後の出直りを期待したい。鉛蓄電池原料の鉛価格の上昇などから18年3月期は連結営業利益で489億4100万円(前の期比10・0%増)と減益で着地したが、3D、NAND向けにCMPスラリーが好調に推移、環境対応車向けではリチウムイオン電池用負極材が拡大基調となっており、19年3月期は590億円(前期比27・7%増)と大幅な増益を見込む。電池材に絡む原料高については販売価格転嫁と製造コスト抑制で対応、

車両用電池及び産業用電池・システムではイタリアのFIAMM、y M T e n e r g o l o g y と t a i n の T h a i r e C o m p l e x y 買収が寄与しよ

### FIAMM社買収効果に期待



## アイスタイル (3660)

### 2期ぶり最高業績で上振れも

アイスタイル(3660)は1400円近辺での中段保ち合いが煮詰まり、3月13日に株式分割を考慮した実質最高値1807円奪回から一段高に向かいそうだ。美容系総合ポータルサイト「@cosme」を基盤としたOn Platform事業を安定収益源に、プライベートブランドの企画・開発・販売や、M&A戦略により中国越境ECなど海外事業も伸び、18年6月期は連結売上高266億円(前期比40・8%増)、経常利益19億円(同46・3%増)と2期ぶり最高業績更新を見込む。しかも、第2四半期は

900万円(前年同期比76・0%増)で着地、通期計画に対する進捗率は65・7%に達し、利益上振れの可能性が高い。高成長路線復帰で、5月2日の第3四半期決算発表に期待が高まっている。

### PBや中国越境EC伸びる

※チャートは日足

# 高野恭壽の株式情報 **これでどや!!**

# 2万2500円に挑戦!

## 株式市場新聞の名物コーナーが復活!



**高野恭壽(たかのやすひさ)氏** 1949年生まれ、大阪府出身。株式市場新聞大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て株式評論家として独立。講演会のほか、ラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめTV、ラジオに多数出演。「株式投資30カ条」など著書も執筆。

4月最終週の東京市場は米国の長期金利上昇の影響で24日にダウが400ドル余り下げた影響が懸念されました。

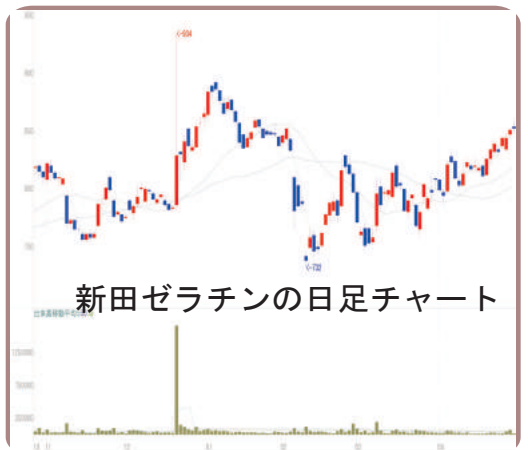
しかし、翌日25日の日経平均は100円以上上下げて始まり、一時は200円近くまで下げる場面をみせた後、押し目買いが入って戻す動きになりました。結局その日の戻り歩調は引けまで続き、62円安となった。2万2200円を維持して終えました。23日の安値2万2065円を割らずに反発したことは上げ基調をキープした押し目を作ったと

## ジリジリ上値追う新田ゼラ

この欄を執筆している段階では27日に予定されている北朝鮮と韓国との首脳会談の内容は不明ですが、核放棄についてまだ北が決めることはないと思われる。平凡な結果で終わりそうです。内容がどうであれ北朝鮮に絡む動きがマーケットに与える影響は少なく、ゴールデンウィーク明けはより業績相場の色彩を強めそうです。

既に3月期決算発表では日本電産(6594)や東京エレクトロン(8035)、任天堂(7974)などが好内容を発表しました。日本電産の予想為替レートが1ドル100円であることが象徴するように、主要企業の今期前提レートは控え目なものになっていきます。現状、109円台まで円安が進んでいることから、3月決算企業の増額修正期待が早くも高まっており、主力系の銘柄などが一斉に上値を追い始めました。

いよいよ2万2500円の2月の戻り高値に挑戦することになります。この欄でも指摘していたように、2万2300円台で引けました。そして26日には2万2500円に挑戦することになります。



新田ゼラチンの日足チャート

予定通りの動きです。特に、アイフルは高値更新が続いており順調な動きです。JVCケンウッド(6632)は好決算を発表しました。再度、400円突破の可能性がでてきました。新田ゼラチン(4977)はジリジリと上値を追っていますので引き続き注目です。一方、小野薬品工業(4577)がもたついていました。5月10日の決算発表まで待ちましょう。ヤマダ電機(9381)がジリジリと水準を上げてきました。大紀アルミ工業(5702)は再度、上値を追うか注視です。

高野恭壽公式ホームページ  
高野恭壽の株式市場情報  
これでどや!!  
<http://www.kabun-takano.com/>  
毎日情報を配信中!

# 星野三太郎の株街往来

～既存顧客の囲い込み～

3月期

決算発表がゴールデンウィーク明けから本格化する。その前哨戦ともいえる2月決算発表は小売セクターが多かったが、概ね好調で次年度も増収増益予想を打ち出している企業が目立った。4月に入って数社程度取材に出掛けたが、安易な新規出店よりは既存顧客の購入頻度を増やすリピーター

の確保に力を入れているところが多い。

筆者は週末に特価の品を事前にチェックして食品スーパーやドラッグストアなど複数の店舗を自家用車で買いに回っているが、最近印象的なのが現金をチャージできる会員カードを発行する店舗が増えたこと。カードにチャージして購入するとポイントが通常より多く付与される仕組みだが、一度チャージしてしまうと他店が少しばかり安くても、現金をチャージしている店舗で買ってしまう。

人口が増えないなかでは既存顧客の囲い込みが更に重要になる。スマホだってアップルは価格が高価になっても高機能化を追求することで既存端末からの買い替えを促進させ利益率を向上させている。値段が安いとか新製品だからというだけではモノが売れない時代になった。既存ユーザーをいかに満足させるかが成長の鍵を握りそうだ。



## New product

**資生堂** スポンジ体型シェーディング  
マキアージュから数量限定発売



資生堂(4911)は、ワンランク上の美しさを提案するメイクアップブランド「マキアージュ」から、影色

スポンジ体型シェーディング効果で小顔&美肌を演出するスポンジ体型シェーディングカラー「マキアージュ ビューティースキンクリエーター (シェーディング)」を、6月21日から数量限定で発売する。「マキアージュ ビューティースキンクリエーター (シェーディング)」は、ポンポンなじませるだけで、クリームが肌にとけこむようになじみ、きゅっと引き締まった小顔と美肌印象に仕上がる。スポンジ体型の容器で、肌なじみのよい自然な仕上がりをテクニク

## 「日本機械学会賞」受賞

クボタ

直進キープ機能付田植機

「直進キープ機能付田植機」EP8DIGS



クボタ(6326)が開発した「直進キープ機能付田植機」が、

「2017年度日本機械学会賞(技術)」は、機械工業に關し、数年以内に完成した新技術、新製品、システムの開発を対象に、①獨創性、新規性 ②品質または性能の相対的優位性 ③生産性の向上を通して経済および社会への貢献 ④機械工学・工業との関連性 ⑤波及効果または実績、などを評価項目とする賞。今回、同社が受賞した「直進キープ機能付田植機」は、業界初となるGPSを内蔵した田植機で、直進時に自動操舵できる機能を搭載しており、農業の効率化や高精度化、低コスト化、省力化に寄与することが評価され、今回の受賞に至った。

企業レター

「2017年度日本機械学会賞(技術)」は、機械工業に關し、数年以内に完成した新技術、新製品、システムの開発を対象に、①獨創性、新規性 ②品質または性能の相対的優位性 ③生産性の向上を通して経済および社会への貢献 ④機械工学・工業との関連性 ⑤波及効果または実績、などを評価項目とする賞。



# GW連休谷間は堅調な動き

## 2月27日高値2万2510円が射程圏

日間の取引となるため、先週の流れを引き継いで堅調な動きが予想される。1日には米国FOMCがあるが、今回は利上げを見送るとみられないだろう。因チャートでは前週に引き続き右肩上がり動いており、26日抵抗ラインの下値は2万

億円の8415万。RSIは80%台を越えてきており、調整となりそうである。また、ボリンジャーバンドの△2σも2万2600円あたりだと思われ、値は一方下値メドは切り上げ、100円、25日移動平均線は2万2500円

先週の日程平均は海外市況が軟調でも前場安、後場の高のあった堅調な動きとなった。3月期の決算発表が続いており、指数の動きは乏しかった。今週はゴールデンウィークの谷間の2日間の取引となるため、先週の流れを引き継いで堅調な動きが予想される。1日には米国FOMCがあるが、今回は利上げを見送るとみられないだろう。因チャートでは前週に引き続き右肩上がり動いており、26日抵抗ラインの下値は2万億円の8415万。RSIは80%台を越えてきており、調整となりそうである。また、ボリンジャーバンドの△2σも2万2600円あたりだと思われ、値は一方下値メドは切り上げ、100円、25日移動平均線は2万2500円

先週の日程平均は海外市況が軟調でも前場安、後場の高のあった堅調な動きとなった。3月期の決算発表が続いており、指数の動きは乏しかった。今週はゴールデンウィークの谷間の2日間の取引となるため、先週の流れを引き継いで堅調な動きが予想される。1日には米国FOMCがあるが、今回は利上げを見送るとみられないだろう。因チャートでは前週に引き続き右肩上がり動いており、26日抵抗ラインの下値は2万億円の8415万。RSIは80%台を越えてきており、調整となりそうである。また、ボリンジャーバンドの△2σも2万2600円あたりだと思われ、値は一方下値メドは切り上げ、100円、25日移動平均線は2万2500円

### ハチロクの裏話

敏腕先物トレーラー

2160円処である。現在値は一目均衡表の雲

### 今週のスケジュール

- 27日 英1-3月期GDP(17:30)  
米1-3月期GDP(21:30)
- 30日 中国4月製造業PMI(10:00)
- 1日 4月新車販売台数(14:00)  
FOMC(~2日)  
米4月ISM製造業景況指数(23:00)
- 2日 4月マネタリーベース(8:50)  
4月消費者動向調査(14:00)  
米4月ADP雇用統計(21:15)
- 3日 米3月貿易収支(21:30)  
米4月ISM非製造業景況指数(23:00)
- 4日 米4月雇用統計(21:30)
- 7日 3月8・9日開催の日銀金融政策決定会合議事要旨
- 8日 3月家計調査(8:30)  
中国4月貿易収支
- 9日 3月景気動向指数(14:00)  
日中韓3カ国首脳会談の可能性
- 10日 4月26・27日開催の日銀金融政策決定会合の「主な意見」/4月景気ウォッチャー調査  
中国4月消費者物価、中国4月生産者物価(10:30)  
英国金融政策発表

（ハチロク）  
良いと思われ。今週も「押し目買い」が



3月期決算発表前週のピクが終わった。各企業、期初計画はたいして慎重だが、日本電産が為替レートによる00円に設定するなど、より厳しい条件で業績を見積もる企業が多く、期を追うにつれ上方修正が増えると感じる。また、東京エレクトロンやアドバンテストが強気の見通しを打ち出す一方、同じ半導体関連のディスプレイが1Q予想を大幅に減額したことは驚かされた。リリースの説明だけでは原因がはっきりせず、内容を精査する必要があるだろうが、これも一つの相場の落とし穴だと思う。

### 編集後記

【ご注意】証券市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被らねたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。